

1 学校理念

八戸盲学校は視覚障がいをもつ児童生徒の、八戸聾学校は聴覚障がいをもつ幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた教育を営むとともに特別支援教育のセンター的機能を発揮し地域に貢献することを目的とする。

2 校訓及び学校教育目標

盲学校

校訓

健康 自学 協調 実践

学校教育目標

心豊かに、たくましく生きぬく人間を育成する。

進んで体を鍛える子

進んで学習に取り組む子

仲良く助け合う子

根気強く実践する子

聾学校

校訓

自主 親和 健康

学校教育目標

個々の障がいの状況と心身の発達に応じた教育活動を通して、基礎的・基本的な内容の確実な習得を図るとともに、人間性豊かにたくましく生きる幼児児童生徒を育てる。

意欲的で主体性のある子

豊かな情操を持ち、協調性のある子

健康で、たくましく生きる子

豊かにコミュニケーションできる子

3 基本方針

青森県教育委員会学校教育指導の方針と重点をふまえ、盲学校聾学校それぞれの学校教育目標の達成のため、目指す学校像を明確にし、全教職員の協力による学校づくりを進める。一人一人の教育的ニーズに応じた教育を営むことのできる学校づくりのため、本人・保護者の主観的ニーズや客観的ニーズから合意形成を図った上で教育活動を進める。また、保護者及び地域の要請に応え貢献する学校づくりのため、**盲学校聾学校で一体感をもってその実現を図るとともに地域との連携・協働をすすめ教育活動を充実させる。**

4 目指す学校像

「わくわくする学校」

5 重点と方策

学校経営の重点及び項目を以下の通りとし、目標達成を3年後(令和7年度)とし、1年目を「3年次計画の立案、目標設定、具体的方策の検討作成、1年目の評価と改善」2年目を「2年目の目標と実施、中間達成度の検討と評価と改善」3年目(令和7年度)を「最終目標に向けての実施、評価と総括、次の目標の設定」として学部、分掌で目標を作成する。

6 学校経営の重点及び項目(3年計画の3年次)

ア: 健康で安全な学校生活

A) 運動の習慣化と体力の増進

- B) 健康に関する知識と技能の定着
- C) 食育の充実
- D) 危険を予測、回避する能力の育成

イ：授業の充実

- A) 基礎的・基本的な学習を定着させるための授業
- B) 探求的な学びができる授業
- C) 興味関心を広げる学習

ウ：豊かな心とコミュニケーション

- A) 道徳教育の充実
- B) 自己有用感、自己肯定感を高める学習活動
- C) 互いの良さを認め合える活動
- D) 自分を表現できる力の育成

エ：貢献する学校

- A) 保護者と連携した教育活動
- B) 学校運営協議会の設置と学校運営への参画
- C) 地域資源を生かした学校行事や校外活動
- D) 障がい理解のためのゲストティーチャー派遣、教育相談など地域への支援活動

オ：時代のニーズに応じた教育

- A) キャリア教育の充実
- B) 情報化に対応する教育の推進
- C) 国際化に対応する教育の推進

カ：働き方改革

- A) 業務の仕分けと整理整頓
- B) 分掌、会議、書類のシェア
- C) 働きがい
- D) 年休の計画的消化

キ：学校組織

- A) 組織としての実行力（成果責任と業務遂行責任）
- B) 学校組織としての在り方
- C) 服務規律の遵守

7 学校運営協議会との関係

学校運営協議会は、年3回開催し、学校経営方針の承認や学校への提言など、学校と教育ビジョンを共有している。

令和6年度は「文化を学ぶ」をキーワードに熟議で話し合われた体験学習、地域を学ぶためのサマースクール「アイラブはちのへ」を実施した。また、その成果を共有するため委員と児童生徒との熟議を行った。参観週間では、授業や施設設備、幼児児童生徒の様子を見てもらいアンケートを実施し、学校運営協議会委員が学校について理解を深める機会を増やした。令和7年度は、「特色ある学校」を目標とし、「地域とともに発展する学校」に幼児児童生徒がどう取り組んでいくかを共に考えていく。